

まつしま

議会だより

第163号

令和7年8月1日発行
宮城県松島町議会



町民ふれあいスポーツ大会（根廻分館）

- ◇ 議案審議 P 3
- ◇ 8人の議員が熱弁（一般質問） P 6
- ◇ 町民の声 P16

令和7年
第2回 定例会
[6月3日～6月6日]

令和7年 第2回 定例会 提出議案 (6月議会)

議員提案第2号 刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書について
刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書を国へ提出するもの

報告第1号 令和6年度松島町一般会計繰越明許費繰越計算書
家計応援商品券配布事業及び地域観光支援クーポン発行事業他7件

報告第2号 令和6年度松島町水道事業会計予算繰越計算書
国道346号配水管移設工事

報告第3号 令和6年度松島町一般会計事故繰越し繰越計算書
(都) 根廻・初原線道路整備事業

議案第27号 専決処分の承認を求めることについて
(松島町町税条例の一部改正)
軽自動車税種別割の税区分等について所要の改正をしたもの

議案第28号 専決処分の承認を求めることについて
(松島町都市計画税条例の一部改正)
地方税法の改正による条項ずれについて所要の改正をしたもの

議案第29号 専決処分の承認を求めることについて
(松島町国民健康保険税条例の一部改正)
基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額の改正等をしたもの

議案第30号 専決処分の承認を求めることについて
(令和6年度松島町一般会計補正予算(第8号))
ふるさと納税費において寄附金の増加に伴い対応したもの

議案第31号 松島町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
医療費助成事業等においてマイナンバーの利用を可能とする改正

議案第32号 松島町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
「国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律」で定める報酬単価の改正が速やかに適用できるようにするための所要の改正

議案第33号 工事請負契約の締結について
工事名 上竹谷地区避難施設建設工事
契約金額 70,950,000円
契約相手 株式会社川村工ム店

議案第34号 指定管理者の指定について
施設の名称 松島町文化観光交流館
指定しようとする団体 株式会社BBI花座
指定の期間 令和7年10月1日から令和13年3月31日まで

議案第35号 令和7年度松島町一般会計補正予算(第1号)
定額減税補足給付金事業費、戸籍住民基本台帳費、選挙費、児童館費、町立小中学校ネットワーク環境改善事業に係る補正等

議案第36号 令和7年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
職員の人事異動に伴う人件費の補正

議案第37号 令和7年度松島町介護保険特別会計補正予算(第1号)
職員の人事異動に伴う人件費の補正

議案第38号 令和7年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第1号)
職員の人事異動に伴う人件費の補正

議案第39号 令和7年度松島町水道事業会計補正予算(第1号)
職員の人事異動に伴う人件費の補正

議案第40号 令和7年度松島町下水道事業会計補正予算(第1号)
職員の人事異動に伴う人件費の補正

議案第41号 松島町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
笠原甲子郎氏の松島町固定資産評価審査委員会委員の任命につき同意したもの

令和7年第2回定例会 議案採決結果表

【賛成全員】

議案番号	議決月日
議案第27号 議案第28号 議案第30号	6月3日
議員提案第2号 議案第31号 議案第32号 議案第33号 議案第34号 議案第35号	6月6日
議案第36号 議案第37号 議案第38号 議案第39号 議案第40号	

【賛成多数】

議案番号	議案名	議決月日	菅野隆二	米川修司	櫻井靖	桜井ていこ	中島一都	後藤良郎	赤間幸夫	高橋幸彦	阿部幸夫	今野章	小澤陽子	片山正弘	高橋利典	色川晴夫	賛成	反対
議案第29号	専決処分の承認を求めることについて (松島町国民健康保険税条例の一部改正)	6月3日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	12	1
議案第41号	松島町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて																12	1

※議：議長

工事請負契約を締結 上竹谷地区避難施設建設工事

刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書提出について（議員提案）

誤った裁判で有罪判決が確定した人の再審は、無実の人を救済する最後の手段であるが、再審請求から無罪になるまでに何十年もの年月を要する実態がある。

無実の人を誤った裁判から迅速に救済するために左記事項について、刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を行うことを要望する。

一 再審に際し、捜査で集めた検察官の持ち証拠を全面開示すること。

二 再審開始決定に対する検察官の不服申し立てに制限を加えること。

三 再審における手続きを整備すること。

提出先

衆・参議院議長

内閣総理大臣・総務大臣

法務大臣

質疑

赤間幸夫議員 なぜ議員提案として、この意見書が提出されたのか。

櫻井靖議員 再審制度の現行法には問題があり、再審開始の決定に10年かかるケースがある。これを受けて国会でも超党派で法改正の議論が進んでおり、松島町議会としても迅速な意思表示が必要と判断し、提出した。

全員賛成・可決

質疑

令和6年度松島町一般会計繰越明許費繰越計算書（報告）

菅野隆一議員 地域観光支援クーポンの販売状況は。

産業観光課長 販売予定数の1割にも満たない状況である。今後はマスコミ等を活用しながらクーポンのお得感をPRしていく。

赤間幸夫議員 道路附属物点検で「関係機関との協議に時間を要したため」とあるが、詳細は。

建設課長 令和6年度分の差額を国に返還するための協議を行ったところ、令和7年度以降へ充てるようにと指示があり、繰り越しとなった。



松島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について（専決処分）

質疑

今野章議員 松島町独自で据え置くという考えはなかったのか。

町民福祉課長 今後の税の統一化も見据えて国の方針に則った対応をした。

討論

反対討論 今野章議員

国保税については以前から所得がなくても課税されることなど、負担が能力を超えた重い負担であることを指摘し、引下げを求めてきた。国保の限度額は、法定額の範囲で市町村が独自に設定できるものであり、据え置きするなど負担軽減を図るべきであると申し上げて反対の討論とする。

賛成多数・可決

令和6年度松島町一般会計補正予算（第8号）（専決処分）

菅野隆一議員 ふるさと納税が増えた要因と今後の見込みは。

財務課長 お米への申し込みが2月、3月だけで380件あったこと。それ以外でも旅館・ホテル等の宿泊券や現地決済型の利用などの増加が要因となった。令和7年度は予算額の1億円を目標に返礼品の拡充を図っていききたい。

全員賛成・可決

松島町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について

質疑

今野章議員 住登外者（松島町に住民登録がない人）でも必要な場合に適切な行政サービスを受けることができるのか。

町民福祉課長 松島町外にある介護施設等に入所する場合や学生への特例など一定の条件を満たせば可能である。

全員賛成・可決

松島町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

質疑

今野章議員 今回は選挙に関わる執行経費の引上げであるが、他の特別職の報酬改定についての考えは。

副町長 現時点では考えていない。今後の物価上昇やなり

手不足などの状況を見ながら検討する可能性はある。

全員賛成・可決

工事請負契約の締結について
【上竹谷地区避難施設建設工事】

質疑

赤間幸夫議員 今回、建設される避難施設の特徴は。また、通常時の地域での利用を想定しているのか。

危機管理監 太陽光発電を導入して環境と災害時対応に配慮した設計となっている。地域での利用については要望があれば協議を前提にイベントなどで活用してもらって構わない。

危機管理監 太陽光発電を導入して環境と災害時対応に配慮した設計となっている。地域での利用については要望があれば協議を前提にイベントなどで活用してもらって構わない。



菅野隆一議員 地権者の相続が未完了の状態では契約を締結して問題ないのか。このようなケースは他にもあるのか。

危機管理監 地権者の方から施工の承諾を得て、進めているので問題ない。

副町長 同様のケースは決して珍しいことではない。それをひとつずつクリアしていきながら取り組んでいる形である。

全員賛成・可決

指定管理者の指定について
【松島町文化観光交流館】

質疑

櫻井靖議員 老朽化などで壊れた機材がそのままの状態になっているものがある。機材の買換えや交換などについての考えは。

教育次長兼課長 予算がかかるものなので指定管理者と協議しながら検討していく。

後藤良郎議員 昨年、文化観光交流館で行われたイベントに来場した車椅子の方が着席するまですごく苦労していた。そういったことをどのように解消していくのか。

教育次長兼課長 指定管理者の方で研修を実施する予定であり、町としても指導を徹底していきたい。

米川修司議員 自主事業計画書の町制施行100周年を祝う民謡ショーで予算約70万円を見込んでいるが、指定管理者の自己収入で賄うという前提なのか。

教育次長兼課長 指定事業者の努力もあり、事業収入が年々上がっていることを踏まえた計画となっている。

全員賛成・可決



松島町文化観光交流館

補正予算

令和7年度松島町一般会計補正予算（第1号）

○ 定額減税補足給付事業 3,763万円

○ 社会保障・税番号制度システム整備費 1,372万円

○ 参議院選挙・宮城県知事選挙・松島町議会議員選挙費 341万円

○ こども・子育て支援交付金 14万円

○ 町立小中学校ネットワーク環境改善事業 1,081万円

○ 留守家庭児童学級サテライト室運営業務委託料 66万円

質疑

菅野隆二議員 小中学校のネットワーク環境改善業務の機器の調査から2か月経過しているが、その後の状況は。また、改善費用は適正か。

教育次長兼課長 電波の状況を見ながら運用している。3社から見積もりをとり比較し発注している。

櫻井靖議員 中学校のルーターが単独となっている理由は。

教育次長兼課長 中学校の環境負荷が大きく、中学校を外すことで小学校3校が安定した稼働が可能となった。

櫻井靖議員 留守家庭児童学級サテライト室の設置場所と人員配置は。

町民福祉課長 サテライト室として高城避難所を使用し、支援員2名配置を予定、委託先で募集している。



菅野隆二議員 休職している職員は何名か。新年度に入ってから休んでいる方はいるのか。

総務課長 前年度より休職している職員が3名いる。
全員賛成 可決

人事案件

松島町固定資産評価審査委員会委員
…同意

(再任)
笠原 甲子郎氏
(松島町高城)

報告 令和7年度へ繰り越した事業 10件

1. 各会計ごとの繰越明許費

事業名	翌年度繰越額	完了した月（ ）は見込み
一般会計		
家計応援商品券配布事業	5,100万円	(令和7年8月)
地域観光支援クーポン発行事業	1,100万円	(令和7年8月)
物価高騰対応重点支援給付金事業（第四号）	720万7千円	(令和7年7月)
令和6年度低所得者の子育て世帯への加算給付金事業（第二号）	79万6千円	(令和7年7月)
道路附属物点検事業	215万6千円	(令和7年6月)
仙塩広域都市計画図作成業務費用負担金	599万4千円	(令和7年8月)
(都) 根廻・初原線道路整備事業	4億9,065万1千円	(令和8年3月)
避難施設整備事業	779万3千円	(令和7年7月)
水道事業会計		
国道346号配水管移設工事	3,270万円	令和7年5月

2. 事故繰越し

事業名	翌年度繰越額	完了（見込み）
一般会計		
(都) 根廻・初原線道路整備事業	1億3,034万8千円	(令和7年7月)



菅野 隆二 議員

問

町制施行100周年事業として東京ディズニーリゾートのスペシャルパレードを誘致しては

答

予算や警備等のハードルが高いので慎重に検討する

問 町制施行100周年記念事業の実施予定や検討状況は。

町長 現時点では記念式典と新たな町史の発行を予定している。その他の事業については未定である。

問 記念式典の内容はどのようなものを想定しているのか。

町長 具体的な内容は全く決まっていない。他自治体の周年事業を参考にしながら検討していく。



問 プレ期間や複数年にわたる取り組みは検討しているか。

町長 100周年は年度でいうと令和9年度となるので来年度あたりから動き出す可能性もあるが、まだ構想段階である。

問 記念事業の担当部署はどこか。専任部署の設置予定はあるか。

町長 式典などは総務課が主体となる予定。ただし、各課横断で進める方針である。専任部署の設置は今後、議論していく。

問 100周年事業を町民参加型として展開していく考えはあるか。

町長 町民や子どもたちを巻き込む必要性を認識している。意見を取り入れる方向で進めたい。

問 町民からアイデアを募る仕組みが必要ではないか。

町長 今後の検討課題と考えている。町民の創意を生かすような仕組みの重要性は理解している。

問 町民主体で記念事業を実施する場合、町として支援をするための補助金制度などを作れないか。

町長 現段階では考えていない。今後、検討していきたい。

問 町民が100周年を盛り上げるイベントを自発的に開催したいと考えた場合の町の相談窓口はどこになるのか。

副町長 内容によって異なるので、まずは企画調整課や総務課のある2階に来てもらうのが良い。

問 松島の子どもたちも一緒に参加できる形で東京ディズニーリゾートのスペシャルパレードを誘致してはどうか。

町長 現時点では考えていない。予算や警備等のハードルが高いので慎重に検討する。

問 記念ロゴやキャッチフレーズの公募予定は。

副町長 未検討だが、今後の議論の中で導入の可能性はある。

問 他自治体との差別化、関係人口の創出などにもつながり、町制施行100周年のPRにも寄与する可能性があるデジタル住民票を発行してみては。

副町長 デジタル住民票は県内では事例がないので、全国的な事例などを踏まえて検討していく。



1928
2028

※ロゴの画像はイメージです



さくら い 桜井ていこ 議員

問

松島中学校・第二小学校の周辺の環境改善について

答

児童生徒が安心して通学できる環境づくりに配慮している

問 中学校裏の信号のない横断歩道に、片側にしか照明がなくて不安だという声を聞いた。街灯照明の増設、また、樹木の剪定が必要では。

町長 県道松島線の横断歩道は、夜間における明るさは確保されており、増設する考えはない。

教育長 国県道の道路管理者・交通指導員・防犯指導隊・スクールリーダーの協力で、児童生徒が安心して通学できる環境づくりに配慮している。
教育次長兼課長 樹木の剪定は、2年に1回は剪定している。今後、状況をみて確認する。

問 中学校の校舎の裏側の建物跡地が、生徒の送迎スペースとなっていて往来が多い。送迎する場所を新たに確保する必要があるのではないか。

教育次長兼課長 学校の敷地を、不特定多数の方が通っていることは把握している。体育館側のスペースを利用することを保護者に促すなど、車両の規制についても検討していく。



中学校敷地内の用地

問 中学校でも全校生徒を対象に安全教室を実施しては。

教育次長兼課長 5月の学校協議会で交通安全教室の実施の議論があり、学校側と今後検討する。

問 第二小学校の避難訓練で利用された経路に危険と思われるブロック擁壁があるが、把握しているか。

建設課長 現地を確認し、擁壁のが隆起している状況はなく、すぐさま崩れる状況ではなく、注視していく。

教育長 大地震・大津波が来たときは、擁壁は崩れる可能性もあるので、その場合は垂直避難で学校の高所へ避難指示を行う。

問

町営三十刈駐車場の安全対策は

答

安心安全な構図を図っていく

問 町営三十刈駐車場を利用した女性から、ライトアップのイベントに訪れた際「夜間照明が暗くて怖い思いをした」という意見があった。効率的な安全対策は。

問 三十刈駐車場から海岸方面への近道を示す看板の改良・増設が必要ではないか。

町長 観光客の流れの導線は慎重に検討しなければならぬ。

問 松島海岸ICから松島海岸に続く県道の除草を、県に要望しているか。

建設課長 除草について県に報告し対処してもらう。



三十刈駐車場

問

町民が楽しく過ごせる施設等の整備について

答

松島町の課題と考えている



おざわ ようこ 議員
小澤陽子

問 松島町の保護者は、町外に行かなくても安心安全な遊具があり、1日遊べる場所を求めているが、そのような要望を把握しているのか。

町民福祉課長 町内の子育て世帯に昨年度実施した「子ども・子育て支援事業計画（第3期）」策定のアンケート調査の結果、子どもの遊び場や公園の整備を望む多くの意見があり、計画策定に携わる「子ども・子育て会議」の委員からも、同様に公園の整備実現の意見をいただいた。町の課題として捉えている。

問 子どもに限らず、町民が憩うための場所として町民の森があるが、整備されたときと比べて現在どのようなになっているか。

教育長 町民の森の複合遊具の設置、センターロジの改修を含む再整備は、町民の満足度向上につながるものと私も認識している。ただし、複合遊具の設置については、「町民の森ありき」で検討を進めるのではなく、町民が日常的に利用しやすく、より多くの方々にとってアクセスのよい場所を含めて総合的に判断していく必要があると考えている。

町長 町民の森は、指定管理者に有効活用を考えていただき事業運営を進めているので、利活用については、これからもその時々で検討して行く。

問 子どものための、屋内遊具、充実した図書室等の整備が必要と思われるが、対策はあるのか。

町民福祉課長 町の子ども・子育て支援に係る大きな課題の一つであるという認識で、子どもの遊び場の整備の実現を目指し、準備していきたい。



本郷ふれあい児童公園



華園児童公園

問 松島の未来のために具体的な人口増の計画や構想は。

町長 各自治体により、人口減少の取り組みは手法がいろいろ違ってくるのではないかと思うので、我が町に合った手法をしっかりと見据えてやっていきたい。例えば初原地区に工業用地をこれから造成しようとしているが、企業誘致を兼ねての人口増になればと考えている。今後もう少しでも人口増に繋がる事業を取り入れていく。



ごとう よし ろう
後藤良郎 議員

問 聴覚情報処理障がい (APD) について

答 広く知っていただくことが大切だと考える

問 音は聞こえても、言葉は聞き取りにくい聴覚情報処理障がい (APD) への理解を深める講演会が仙台市内で開催され参加した。東北大学病院の香取教授いわく、原因は家庭環境やストレス、あるいは発達の状況など様々である。それをどう考えるか。

町長 APDについて、4月3日の講演会の資料を見た。医師であっても診断が難しいことが大きな要因であり、広く知っていただくことが大切だと考える。

問 理解を深めていただくために、町の広報誌やウェブ、またはSNSを活用しAPDについての情報発信を行ったり、学校等へのポスター掲示などで町民への周知を図ることができないか。

町民福祉課長 国県または医師会等でツールの作成があれば、町でも活用していきたい。

教育長 ポスターの学校内掲示については、提供があれば、いつでも貼って協力したい。

問 APDの合理的配慮について、静かな環境での業務ができるよう配慮を行うことや、視覚的な表示でフォローするなど町としてどのような配慮を考えているか。

町民福祉課長 手続が複雑になる件などについては一覧表などを作成しており、言葉だけでなく、視覚的にも手続について分かりやすく工夫して対応している。



講演会

問 学校で関わる児童生徒とその保護者を含め、全ての方々への周知と理解を深めるために、APDについての説明会を定期的に開催し理解を深めるべきと考えるがどうか。

教育長 APDに対する理解を深めるため、保護者向けには学校日より、あるいは保健だより、それからガイドブックやパンフレットなどを提供いただけただけには、学校での配付や家庭へ配付する方法などで考えたい。

教育長 先生方も意識して、子どもたちに優しく症状などを話しながら、理解してもらえようように取り組んでいきたい。

問 APDについてクラスメイト等に理解を促すような機会を作るべきと考えるがどうか。

難聴の原因と特徴

難聴の種類	障害の場所	原因の例	特徴
伝音難聴	外耳～中耳	耳垢(みみあか) 中耳炎、外傷、遺伝	音を大きくすると、聞き易くなりやすい
感音難聴	内耳	加齢、騒音、突発性 ムンプス、薬剤、遺伝	音を大きくしても、こどばがわかりにくい
感音難聴 (後述路難聴)	神経～脳 (後述路)	加齢、脳卒中、神経疾患 自閉症スペクトラム障害	こどばを聞きにくい
混合性難聴	伝音難聴と感音難聴の両方の障害をあわせもつ難聴		

難聴の原因と特徴 (資料)

問 無料低額診療について



こんの あきら 議員
今野 章

答 周知方法を検討したい

問 無料低額診療は、経済的理由やDV被害者などに安心して治療を受けてもらうため、医療機関が患者負担分の医療費の全額が一部を免除できる制度だが、町長の認識は。

町長 無料低額診療は、社会福祉法に基づき医療機関の判断で実施し、医療機関は税の優遇制度を受けられる制度と認識している。

問 県内の無料低額診療施設は10施設。町内の院所等に働きかける考えは。

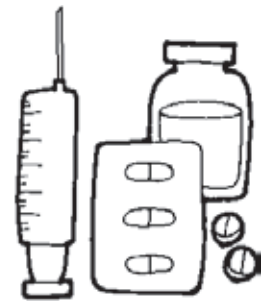
町長 実施には、人的配置や診療体制整備が必要で規模の小さな医療機関には負担が大きく、実施依頼することは難しい。

問 町内の利用人数は把握しているか。

町民福祉課長 利用者は把握できない。県には税の優遇措置の手續上、実績報告があるが市町村ごとの利用者数は集計していない。

問 この制度の趣旨や仕組み、実施医療機関についてホームページや広報で周知する考えは。また、医療、福祉、介護などに関わる皆さんに制度周知の考えはないか。

町民福祉課長 実施医療機関は、県ホームページにあるが町も周知方法を検討したい。



問 以前、院内処方されていた薬が現在は院外処方に替わり無料低額診療の枠外になった。薬代が軽減されず、医療から外れるケースもある。制度の不備を埋めるため町が助成する考えはないか。

町民福祉課長 調剤費に対する助成は難しい。

問 ぐども誰でも通園制度について

答 ゆとりある保育は大変難しい

問 来年度から、3歳未満の子が保護者の就労の有無に関らず月10時間、保育施設を利用できる「ぐども誰でも通園制度」が始まる。現在の施設容量で、安全でゆとりある保育は可能か。

町民福祉課長 現場の保育士と調整中で、利用園児が少ない時期での受入れなど検討したい。

問 曜日限定あるいは時間限定など考えられるが、現時点での考えは。

問 高城保育所自体の施設の拡張も含めて考えざるを得ないのではないか。

町長 高城保育所の正面玄関のリニューアルなど、年度後半には利用状況も分かるので、それらを鑑みて考えたい。

問 町の計画では1日、49名の見込み量だがどう進めるのか。

町民福祉課長 計画量のクリアは難しい現状だが、定員の余裕分を活用しながら開始したい。





さくら い やすし
櫻井 靖 議員

問 人口減少時代の町のあり方をどう考えているか

答 次期長期総合計画が、まちづくりの方向性や進むべき目標である

問 このままでは、近い将来、松島の人口は1万人を切る事が予想される。1万人時代の松島町のあり方について、町民と腹を割って話し合う場を設け、理解してもらうことが必要ではないか。

町長 将来の松島町のあり方については、現在策定中の次期長期総合計画が、まちづくりの方向性や進むべき目標であると考えている。

町民との対話の機会是非常に重要な要素であるので、アンケート調査やまちづくり検討委員会を定期的に開催し、意見をとりまとめ、有識者等で構成される総合計画審議会に報告し、専門的な意見を伺っている。



問 松島町は、12行政区となった当時と比べ、行政区内の人口動態が大きく変化している。様々な歴史的経緯、地域性があるのは分かるが、行政区を維持していく上で、行政区割りについて話し合う時期が来ているのではないか。

町長 行政区の見直しについては、地域コミュニティが休止にならないように、人口規模の見直し、歴史的経緯や地域のつながりなども考慮しながら丁寧に検討を進めていくことが重要である。まずは区長会等々意見交換を行っていききたい。

問 今後しばらくの間、松島町の子どもの生まれる人数は40人前後と、町では推測している。1学年40人の児童数に対した学校のあり方についても議論を始めていくべきだと思うがどうか。

教育長 就学予定児童数の推移や校舎等の老朽化、地域バランス等々を考へながら、学校再編に向けた基礎的な情報収集は始めている。保護者、地域の住民の皆様の声を丁寧に聞きながら、学校のあり方を議論していき

たい。

問

新たな外国人向け観光コン
テンツの開発を

答

必要に応じて外国人観光客
の対応に努めていく

問 先日、台湾から小学生が本町の小中学校を訪問し交流を深めた。国際人を育てる上で大変よいことだと考える。海外からの教育旅行を積極的に受入れてはどうか。

町長 海外からの教育旅行受け入れについては、現在、県で台湾からの訪日教育旅行者数の拡大に向けて誘致強化に取り組んでいる。今後も可能な範囲で訪日教育旅行者の受入れに努めてく。

教育長 今回の受け入れは、先生は少し苦労したが、本町の子どもたちはその10倍楽しんだと思っている。英語のスキルアップや国際理解教育にもつながるので、学校の行事がぶつからなければ受け入れたい。





夜間の観光コンテンツ不足について 町の認識は



決して不足しているとは考えていない



なか じま かず と
中島一都 議員

問 本町の宿泊数は年々減少しており、その一つの要因として、夜間のコンテンツ不足が本町の課題となっていると考えるが、町は現状どのように認識しているか。

町長 夜の観光コンテンツは地域経済の活性化につながるものと考えている。現在、紅葉シーズンには複数の事業者が趣向を凝らしたライトアップ事業を開催している。また、福浦橋では通年ライトアップを実施しているほか、瑞巖寺大施餓鬼会や海の盆、観瀾亭での月見会も開催しており、決して不足しているとは考えていない。

一般質問

問 観光客や宿泊客からの声やアンケート等で、これまでどのようなニーズがあったのか、またその課題は。

産業観光課長

夜景やイベントだけではなく、地元の食文化に触れることも魅力の一つと考えている。外国人観光客や、地域ならではの食事を楽しみたい観光客から、夜間営業している飲食店等のニーズがあると伺っているが、営業時間を縮小している店舗もあり、今後需要が高まれば夜間営業を取り入れる事業者が出てくると期待している。

問 夜間の観光コンテンツの創出や充実に向け、現在の取り組み状況及び課題は。

産業観光課長

安全対策、

集客PR、コンテンツの企画、運営体制、運営資金の確保など課題を整理する必要があることから、まずは現在実施している事業を充実させたいと考えている。

問 観光協会や商工会、宿泊施設、観光施設等と連携し、夜間観光を充実させるための施策や支援策等の考えは。

産業観光課長

秋の紅葉

ライトアップ時には事業者との調整相談やマスクミへのプレスリリースを行い、観光客の誘客促進を図っている。今後も関係者と連携し既存事業の充実、新規事業の企画提案について話し合いを設けたいと考えている。

また、夜間だけではなく早朝や平日のコンテンツについても事業者と連携し滞在型観光に努めていくべきと考えている。

問 観光客や宿泊客が安心して夜の観光を楽しめる環境づくりとして、夜の安全対策は。

総務課長

1,800を

超える防犯灯が町内に設置されており、夜間の安全確保を図っている。今後も警察等との情報連携を密にし、防犯指導隊による防犯パトロール等の協力も頂きながら、より安全安心な環境となるよう努めていく。



松島海岸での花火の様子



夜のイベント（月の松島in観瀾亭）



よね かわ しゅう じ
米川修司 議員

問

地域の担い手不足を解決するために、社会教育行政の面からどのように支援していくか

答

社会教育だけで地域の担い手不足の問題を解決できるものではなく、関係各所と連携を図る必要がある

町民福祉課長 これまで担当地区割りや定数の見直し、研修の充実等について協議を重ね、改善を図ってきたが、役割や制度についてまとめたリーフレット配付による周知等を通じて、委員の皆様と協力して、活動しやすい体制づくりを支援していく。

問 町民と福祉の関わりについて、各地区において民生委員・児童委員のなり手不足が懸念されている。これを解決するには町民の意識や行動の変わりが求められるが、分館活動のあり方を含め、社会教育行政の面からどのように支援していくか。

教育次長兼課長 今後も分館活動を通じて、地域・世代間交流の推進を図るとともに、青少年健全育成松島町民会議をはじめとする社会教育団体の活動を引き続き支援しながら、地域に必要とされる人材の育成に努める。

問 町民と自治会の関わりについて、各地区において行政員のなり手不足が懸念されている。これを解決するには町民の意識や行動の変わりが求められるが、分館活動のあり方を含め、社会教育行政の面からどのように支援していくか。

町長 行政員の負担軽減のための業務マニュアルを作成し、新たな負担が生じないように、容易に業務をお願いしないよう努めている。また、行政員は地区の町内会長も兼務していることが多いため、一人に負担が集中しないよう地区にお願いしていく。

問 地区によっては、子ども会の存続が岐路に立っている地区もある。少子化の影響により保護者の負担が大きくなっているのが要因の一つであるが、子どもにとってはイベントを体験する機会を失うことが懸念される。これからは子どもと地域との繋がりを模索する必要性を強く感じるが、分館活動のあり方を含め、町は「共同養育社会」の実現に向けて、社会教育行政の面からどのように支援していくか。

教育長 ふれあいスポーツ大会等の分館活動を支援することにより、行政区と連携した地域コミュニティの場を提供し、広く活動への参加を促すことで、住民が地域課題と向き合い、認識を深め、互いに支え合える環境づくりを促していきたい。

教育長 教育委員会としては、地域、学校、家庭並びに関係各所と連絡を図り、子ども会と地域のつながりを深める場を提供していくことが重要であると認識している。磯崎分館のように子どもが色々な分館活動に参加する、ジュニアリーダーを呼んで子ども会の行事に参加してもらう等、教育関係の社会団体を十分に活用してもらいたい。



令和6年度 政務活動費収支報告

政務活動費の支給について

議員1人あたりに月額7,000円が交付され、議員1人あたりの年間交付額は84,000円（月額7,000円×12ヶ月）となります。また、「会派」と会派に所属しない個人の「議員」にそれぞれ交付されます。

収支報告一覧（単位：円）

会派名・議員名	代表者名	所属議員名	交 付 額	支 出	残額（返還額）
松政クラブ	高橋利典	高橋利典 櫻井靖 片山正弘	252,000円	243,498円	8,502円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×3名	研修費 200,482円 資料購入費 41,616円 事務費 1,400円	
公明党	後藤良郎	後藤良郎	84,000円	91,364円	0円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	調査研究費 80,692円 資料購入費 10,672円	
日本共産党	今野章	今野章	84,000円	33,804円	50,196円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	資料購入費 32,012円 事務費 1,792円	
菅野隆二			84,000円	89,390円	0円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	調査研究費 35,180円 資料作成費 7,450円 資料購入費 7,920円 広報費 20,860円 事務費 17,980円	
米川修司			84,000円	94,980円	0円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	研修費 70,180円 資料購入費 4,800円 広報費 20,000円	
櫻井貞子			84,000円	85,178円	0円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	研修費 31,000円 資料購入費 54,178円	
中島一都			84,000円	34,980円	49,020円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	調査研究費 34,980円	
赤間幸夫			84,000円	85,218円	0円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	研修費 39,330円 資料購入費 45,888円	
高橋幸彦			84,000円	9,972円	74,028円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	資料購入費 9,972円	
阿部幸夫			84,000円	22,372円	61,628円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	資料購入費 22,372円	
小澤陽子			84,000円	36,800円	47,200円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	研修費 11,000円 資料購入費 25,800円	
色川晴夫			84,000円	88,372円	0円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	資料購入費 22,372円 広報費 66,000円	

※公明党、菅野隆二議員、米川修司議員、櫻井貞子議員、赤間幸夫議員、色川晴夫議員の残額（返還額）については、交付額よりも支出額が多いため交付額により算出

一部事務組合議会報告

塩釜地区消防事務組合議会

令和7年第1回定例会
令和7年3月26日（水）

行政報告

①火災件数

管内 53件（前年比7件増）

松島町内 7件（前年比1件増）

②救急出場件数

管内 10,505件

（前年比138件増）

松島町内 1,077件

（前年比66件増）

※以上、令和6年1月～12月

③要介護認定審査判定件数

管内

審査回数232回、6,679件

松島町内 646件

④障害支援区分判定件数

管内

審査回数32回、365件

松島町内 20件

⑤し尿及び浄化槽汚泥搬入量

管内

7,119t（前年比139t減）

松島町内

3,293t（前年比9t減）

⑥塩釜地区りふ斎場の利用実績

2,487件（前年比9件減）

222件（前年比14件減）

※以上、令和6年4月～令和7年2月

議案の審査状況

条例の一部改正3件、条例の制定1件、令和6年度補正予算1件、令和7年度予算4件、いずれも全員賛成・可決した。

一般質問

1名の議員が一般質問を行った。

米川 修司議員
片山 正弘議員

宮城東部衛生処理組合議会

令和7年第1回定例会
令和7年3月21日（金）

行政報告

①ごみの搬入状況（令和7年2月末）

4万0,725トン

（前年比683トン減）

松島町分

5,205トン

（前年比388トン減）

②焼却灰、排ガス中の放射性物質濃度及び埋立地浸出水処理水、地下水放射性物質濃度、各施設敷地空間放射線量の測定結果は、いずれも目安や基準の範囲内。

※以上、令和6年4月～令和7年2月末

議案の審議状況

①宮城東部衛生処理組合議会の個人情報に関する条例の一部を改正する条例について

原案のとおり可決

②職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

原案のとおり可決

③職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

原案のとおり可決

④令和6年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算（第3号）について

原案のとおり可決

⑤令和7年度宮城東部衛生処理組合会計予算について

原案のとおり可決

赤間 幸夫議員
高橋 幸彦議員

次回

第3回 定例会 9月2日(火) 開会予定

▶ 議場で傍聴される方は住所と氏名の記入をお願いします

議会情報はここからどうぞ

松島町議会
ホームページ

こちらから



まつしま議会だより
バックナンバー

こちらから



記事の訂正について

「まつしま議会だより」第162号の22ページ目に記載しておりました障害者手帳の担当課に誤りがありました。正しくは、身体障害と知的障害は町民福祉課、精神障害は健康長寿課です。お詫びするとともに訂正いたします。

広報広聴常任委員会広報分科会

会長 櫻井 靖
副会長 桜井 ていこ
委員 菅野 隆二
委員 米川 修司
委員 中島 一都
委員 小澤 陽子
委員 高橋 利典

(小澤 陽子)

く頃には暑さが厳しくなること
でしょう。町民の皆様におかれ
ましてはご自愛のほどお祈り申
し上げます。



町民インタビュー

議会だより表紙に各地区の活動を紹介し
ます。今回は根廻分館の分館長にインタビュー
しました。

根廻分館分館長

お じま
小 島

あきら
彰 さん



毎年度恒例の分館活動は
どのようなものがありますか。

昨年は大雨で中止となりましたが、「ねまわり
のひまわりまつり」は分館の一大イベントであ
り、今年は是非とも開催したいです。

これから新たに取り組みたい
企画等があれば教えてください。

以前に試みたことがあります、あらためて
フラワーアレンジメント等の企画に取り組んで
みたいです。

根廻地区の今後の課題を
教えてください。

根廻地区は「松島のへそ」であるにもかかわらず、今のところ世帯数が減り続けているので、地区単体で何ができるか考えていきたいです。

議会に対してのご要望やご意見
をお聞かせください。

少子高齢化に関しては、議会が何らかの方策
を町へ提言して、それが実現することを期待し
ています。議員の考え方はそれぞれ異なります
が、議会が何かをやり遂げなければならない場
面では、議員が一丸となって取り組んでほしい
です。

編集後記

暑い夏に涼しげに走る松島町
営バスの外観デザインが私は好
きです。本町が加盟している『世
界で最も美しい湾クラブ』のロ
ゴと松島町のマークの調和です。
皆さまの献身的な環境美化に
より松島湾から世界の海が浄化
され地球が美しい水で満たされ
る幸せを感じております。